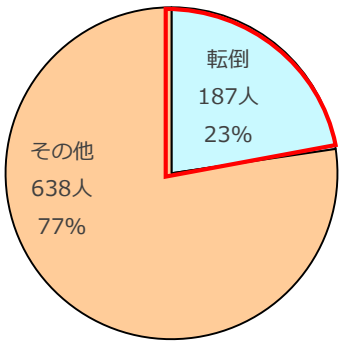
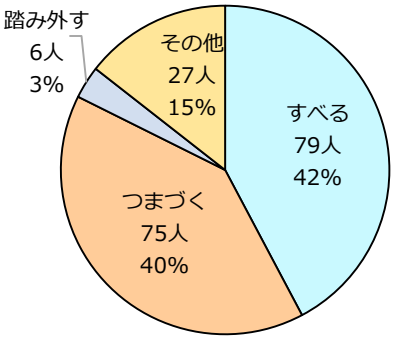
令和３年
転倒災害発生事例からみる
再発防止対策〈事例集〉

転倒しただけで労働災害につながるというと大げさだと思われるかもしれませんが、職場での転倒により休業（４日以上）となってしまう「転倒災害」が多発しており、島根県内の労働災害（休業４日以上の死傷災害）全体の約１/４を占め、深刻な問題となっています。

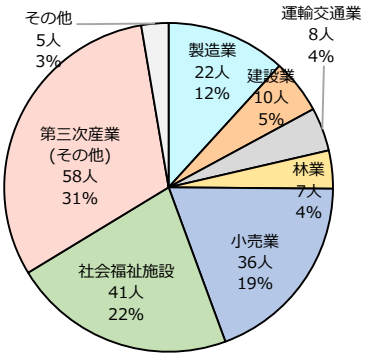
転倒災害発生件数



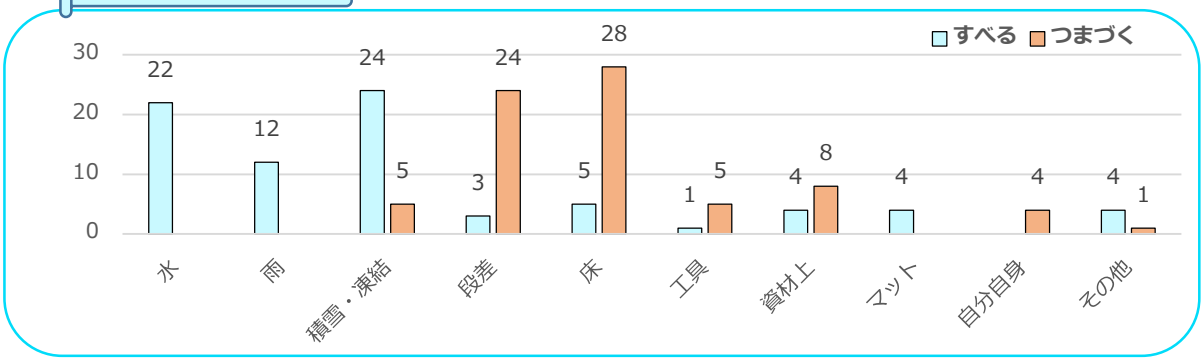
転倒災害のパターン



業種別発生件数

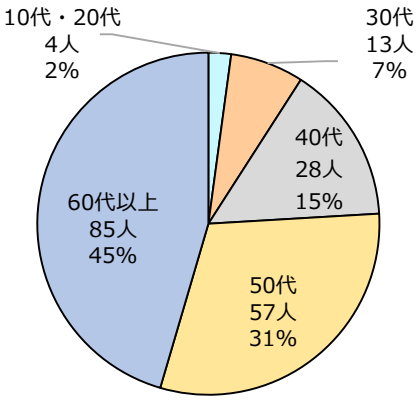


転倒の主な要因

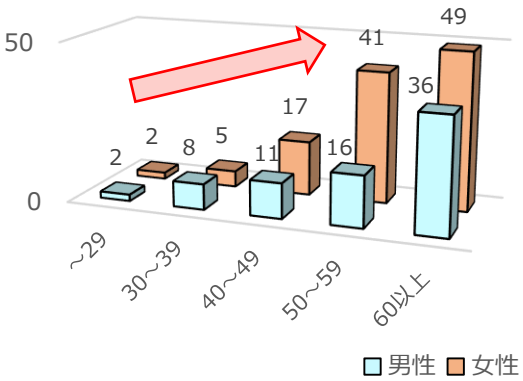


転倒災害は、高年齢になるほど多く発生しています。高齢の女性では、特に多く発生しています。

年齢別発生状況



年齢・男女別発生状況



出所：労働者死傷病報告

厚生労働省・島根労働局・各労働基準監督署

自主点検結果の状況

転倒災害を防止するため、島根労働局管内の労働基準監督署では転倒災害を発生させた事業場に対し、『転倒災害の再発防止のための自主点検等報告書』の提出を要請しております。令和３年１月～令和３年12月までに各労働基準監督署へ提出された自主点検結果112件について、取りまとめました。

安全衛生担当者の選任状況（複数選択可）

安全管理者	衛生管理者	安全衛生推進者	安全推進者	選任せず
37	48	34	8	21

安全委員会等の実施状況（複数選択可）

安全委員会	衛生委員会	安全衛生委員会	その他	実施せず
4	11	36	47	26

安全管理体制が整っていない事業場も多くありました。

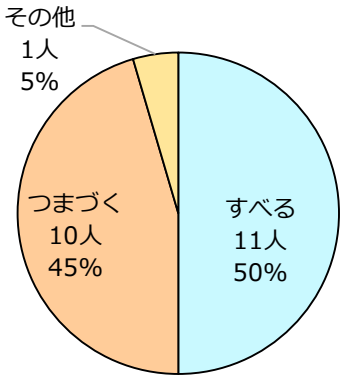
自主点検結果にみる災害発生原因及び対策未実施事項（複数選択可）

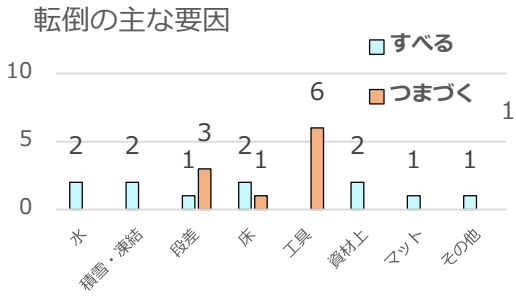
身の回りの整理・整頓を行っていなかった。通路、階段、出口に物を放置していた。	18
床の水たまりや氷、油、粉類などを放置したまま、その都度取り除いていなかった。	13
安全に移動できるように十分に明るさ（照度）が確保されていなかった。	7
転倒を予防するための教育を行っていなかった。	50
作業靴は、作業現場に合った耐滑性を有し、かつサイズのあったものを着用していなかった。	12
ヒヤリハット情報を活用し転倒しやすい場所の危険マップを作製し、周知していなかった。	15
段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていなかった。	36
ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていなかった。	33

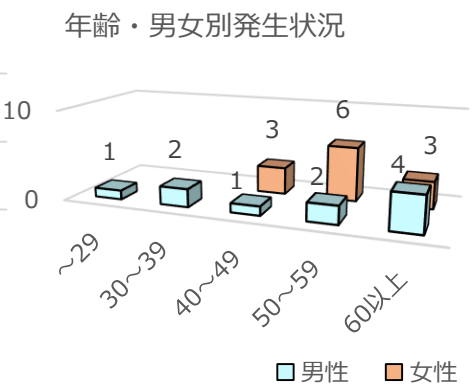
『転倒防止のための教育』、『危険標識や危険マップを活用した転倒リスクの見える化』、『体操・運動』が行われていないケースが多くなっていました。

出所：転倒災害の再発防止のための自主点検等報告書

製造業



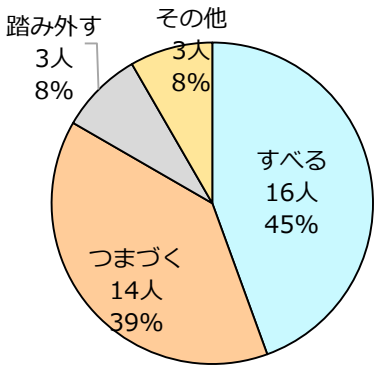


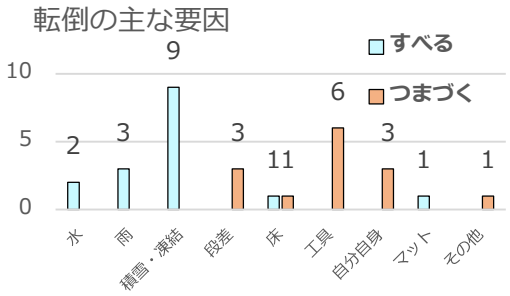


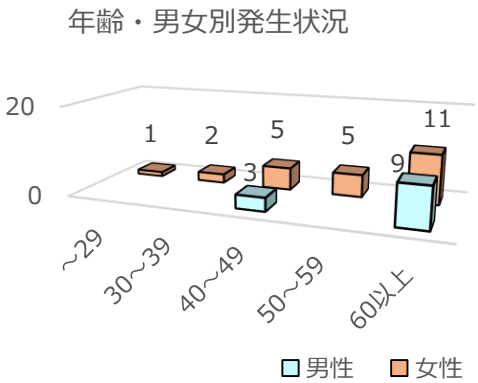
令和３年に発生した転倒災害で、実際に事業場で行われた再発防止対策

災害発生状況	原　因	主な再発防止対策
工場内通路を移動中、床のエアーホースに足が引っ掛かり転倒（つまづく）	・ホースに覆いをしていなかった。 ・動線上にホースが置かれていた。	・ホースの撤去及びモールで覆い段差が生じないようにする。 ・動線を考慮して、歩行者がホース、ケーブル等の上を歩かなくても良いようにする。
両手にバケツを持って移動中、足を踏み出したところに台車があり、台車に足が乗りバランスを崩して転倒（その他）	・台車が所定の場所に置かれていなかった。	・整理整頓の実施（台車等は決められた場所への移動徹底）。
作業場内を移動した際に配線コードに引っ掛かり転倒（つまづく）	・作業内に配線コードが散乱していた。	・毎週水曜日を一斉清掃日とし、不要物の片付け、危険個所の洗い出しの実施。 ・躓き転倒リスク箇所の配線コードへモール（覆い）の取り付け。
玄関入口においてあるステンレス製の泥落としマットで滑って転倒（すべる）	・泥落としマットが滑りやすかった。	・工場内の危険個所及び出入口へ注意喚起表示を掲示。 ・危険箇所の報告を周知・徹底。
保管庫に平行に並んだ台車の間を通ったところ、台車のタイヤが出ており、タイヤにつまづき転倒（つまづく）	・通路上に台車が置かれていた。	・作業通路の確保。 ・作業台車を置き場の指定。
出入口付近のカゴを積んだパレットにつまづき転倒（つまづく）	・機械に材料を投入するため急いで移動したため、パレットに積まれたカゴに気が付かなかった。	・「足下注意」、「転倒注意」の注意喚起表示を掲示。
槽内の清掃作業が終了し、槽内の横を通行したところ、床面と長靴の裏が濡れており、滑って転倒（すべる）	・木製の床面が濡れて滑りやすかった。 ・長靴の裏も濡れており、滑りやすかった。	・木製床面を滑りにくい樹脂製のグレーチングへ変更。 ・耐滑性のある作業靴変更。 ・作業時は注意喚起表示の看板を設置し作業を行う。 ・作業標準の見直し。
構内から駐車場に向け建屋の間を歩いていたところエアコン等のパイプやドレインホースがはみ出しており、避けようとして転倒（その他）	・排水用配管の固定部が破損した状態で放置されていたこと。	・工場巡視の際に「物の放置」「各破損」「はみ出し」「段差」「明るさ」「滑りやすい箇所への標識有無」についても確認を行う。 ・犬走・グレーチングを黄色く塗り通行禁止とした。 ・室外機の排水用ホースを撤去し室外機の下から排水できる突起していない物に変更した。 ・通路に滑り止めテープを貼り、滑り止めスプレーを施工した。 ・注意喚起表示を掲示。
調理室へ走っていく際に、床面が濡れており足を滑らせ転倒（すべる）	・床面が水で濡れており、滑りやすかった。	・床の水たまりの出来やすい場所については、定期的に水を吹きとる担当者を配置。

小 売 業



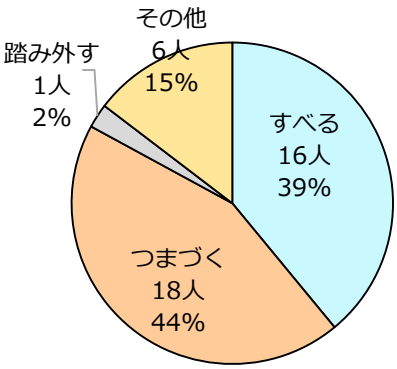


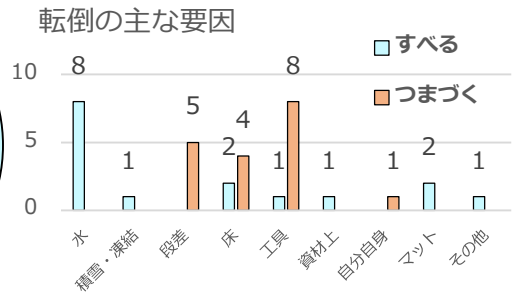


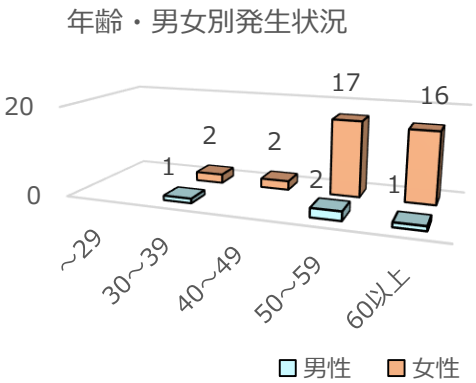
令和３年に発生した転倒災害で、実際に事業場で行われた再発防止対策

災害発生状況	原　因	主な再発防止対策
駐車場から走って移動していたところ、自分の足に引っ掛かり転倒（つまづく）	・急いでいたため、走って移動した。	・慌てず、走らないよう注意喚起の実施。 ・労災POPを作成し掲示。
店舗内でお客に呼ばれ走って移動中、床にこぼれた水に気づかず、足を滑らせ転倒（すべる）	・こぼれた水が放置されていた。	・水などがこぼれていたら、即ふき取る。 ・危険個所のマップを作成し周知。 ・転倒予防パンフレットを掲示。
加工場内を移動中、床の溝蓋グレーチングに足を滑らせ転倒（すべる）	・溝蓋グレーチングが滑りやすかった。	・安全活動を推進する担当者の配置。 ・歩行場所に物を放置しない、床面の汚れ（水、油、粉等）を取り除く。 ・時間に余裕をもって行動、小さな歩幅で歩行、足下が見えにくい状態で作業しないことの徹底。 ・作業に適した靴の着用及び転倒災害の教育を実施。
徒歩で移動中、敷地内側溝グレーチングで滑って転倒（すべる）	・雨で側溝グレーチングが濡れ滑りやすかった。	・大型看板を作成し、通勤途上での災害について注意・喚起を実施。
キャリー（台車）を押していたところ、バランスを崩し前のめりに転倒（その他）	・キャリーを押すときに前傾姿勢で押していたため、バランスを崩した。	・他企業の対策事例をもとに対策を検討。 ・キャリー、台車操作時の作業方法の見直し。
作業場から売り場に出た際に、床が水で濡れており、滑って転倒（すべる）	・床が濡れて滑りやすかった。 ・床の水が拭き取られていなかった。	・全従業員がウェス（布）を携帯し、水濡れなど発見したらすぐにふき取る。水の量が多い場合はすぐに清掃担当者を呼び、清掃担当者が現場に到着するまでその場を離れない。 ・「水濡れ転倒注意」看板を立てて注意喚起。
新聞配達中、配達先の砂利道を歩いていたところ、バランスを崩して転倒（その他）	・早朝のため足元が暗く、砂利道で足元が悪かった。	・他の販売所と事故の状況や予防対策等の意見交換を実施。 ・冬の転倒災害防止対策のリーフレットを作成し配布。
通路を歩行中、別の作業員が通路に隣接する部屋の戸を開けたため、戸にぶつかりそうになり避けた際、バランスを崩し転倒（その他）	・階段等での転倒防止についての掲示はしていたが、ドア開閉時の注意喚起を行っていなかった。	・ドアへの「開閉注意」の掲示の他、ドア可動領域部分の床面にも「キケン注意」のテープを貼付け。
給油作業中に給油ホースにつま先が引っ掛かり転倒（つまづく）	・足が上がっていなかった。	・「転倒チェックリスト」の作成・配布。 ・ストレッチ体操の実施。 ・安全推進者の配置。
外出先で携帯電話が鳴り電話を取る際、足元にあった不安定な石に足を乗せてしまい、踏み外し転倒（踏み外す）	・携帯電話を使用しながら移動した。	・歩きながらでの携帯電話の使用禁止。 ・転倒防止教育の実施。
敷地内を歩行中、敷地と建物の境界の３ｃｍの段差につまづき転倒（つまづく）	・段差が見えにくかった。	・段差に色を塗り、「見える化」の実施。

社会福祉施設



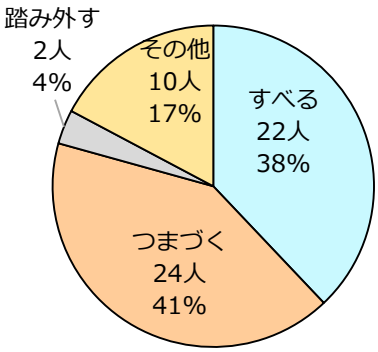


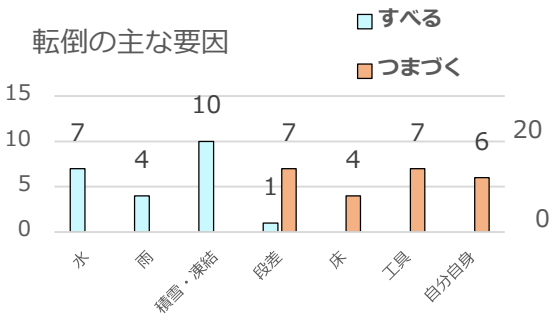


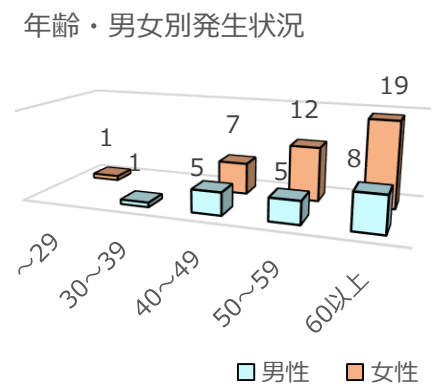
令和３年に発生した転倒災害で、実際に事業場で行われた再発防止対策

災害発生状況	原　因	主な再発防止対策
事務室へ移動中、足がもつれ転倒（その他）	・サンダル系の履物を着用していた。	・動線上に転倒に影響するものがないか確認。 ・作業中の履物について検討。
シーツをもって居室に敷いてあるマットを跨いだ際に、マットの上に置いてあった利用者の衣服を踏み、滑って転倒（すべる）	・利用者の濡れた衣類を一時的に床に置いてしまった。	・動線上に物を行い事の徹底。 ・不要なものを片付けてから次の作業（行動）を行うことの徹底。 ・危険個所の点検、転倒予防の教育の実施。
厨房から廊下へ出る際に、濡れた足拭きマットの上を歩いたため靴が濡れ足を滑らせ転倒（すべる）	・足拭きマットが濡れていた。	・足ふきマットはしっかり絞ってから敷き、滑らないか確認する。 ・反対側の廊下に乾いたマットを設置する。
廊下を小走りで移動中、床につまづき転倒（つまづく）	・走って移動した ・足が上がらなかった。	・廊下は走らないことの徹底。 ・日頃から足やつま先がしっかり上がるよう運動やストレッチの実施。仕事中でもできる簡単な体操のパンフレットを配布。 ・軽量・靴底が柔らかく曲がりやすい、踵がある、足にフィットする躓きにくいシューズを使用。
厨房内を移動する際に、床に野菜の箱が置いてあることに気づかず、箱につまづき転倒（つまづく）	・翌日使用予定の食材が入った箱を通路に放置していた。	・通路上に箱を放置しない。箱の中身は納入された時点で保管棚に置き、通路の確保を行う。 ・転倒予防教育、職場点検を実施。
ベッドシーツ交換中にナースコールのコードに引っ掛かり転倒（つまづく）	・ベッド周りに電源コードやナースコールのコード等複数配線があった。	・作業箇所周辺のコード等の危険個所の周知。
ズボンの裾が利用者の車いすの車輪に引っ掛かっていることに気付かず動こうとし、バランスを崩し転倒（その他）	・裾が車いすの車輪に引っ掛かっていることに気付かなかった。	・「転倒災害防止のためのチェックシート」を活用して、転倒防止活動を推進。
デイサービスの送迎時、利用者宅の玄関前の５ｃｍ程度の段差につまづき転倒（つまづく）	・家から出ようとする利用者に気を取られ、段差に気が付かなかった。	・朝のラジオ体操の全員で取り組む。 ・利用者方（住宅の段差、溝）の情報を共有する。
通用口で靴を履き替える際に段差につまづき転倒（つまづく）	・注意喚起の掲示等をおこなっていなかった。	・段差等の転倒リスクがある箇所にトラ柄テープを貼付け注意喚起の実施。
移動中、介護室内のモール（覆い）につまづき転倒（つまづく）	・モール（覆い）の高さが高かった。	・モール（覆い）の高さを床に対して、フラットになるような物に変更。
職員駐車場から玄関へ向かう途中、減速帯（段差）に足を引っ掛け転倒（つまづく）	・歩行者通路が定められていなかった。 ・外灯が暗かった。	・外灯の照度の確保。 ・車両の徐行を促すための減速帯の一部を撤去し歩行者通路の明確化の実施。
特殊浴室の片づけ後、脱衣所へ一歩踏み出した際に、床で滑り転倒（すべる）	・床は拭いていたが拭いても床が滑りやすくなっている事を意識していなかった。	・耐滑性のある作業靴の選定。 ・転倒防止を啓発するためのポスターの掲示。 ・作業方法の見直し。

第 三 次 産 業（小売業・社会福祉施設除く）







令和３年に発生した転倒災害で、実際に事業場で行われた再発防止対策

災害発生状況	原　因	主な再発防止対策
厨房入口に置いてあったバケツに足が引っ掛かり転倒（つまづく）	・出入口付近にバケツが置かれていたこと。 ・施設内がうす暗い。	・職員のヒヤリ・ハットの実施。 ・整理整頓の実施。 ・照度の確保。
螺旋階段を上る際に、階段と階段の間に足が挟まり、転倒（その他）	・急いで階段を駆け上った。 ・照明が暗い。 ・エレベーターを使用しない風習がある。	・常時照明点灯の実施。 ・エレベーターの使用。
ケースを両手で持ち移動中、作業場に敷いてある厚さ３mmのコンパネにつまづき転倒（つまづく）	・ケースを両手で持って移動した。	・荷物は台車を使用して移動させる。 ・転倒危険個所には目立つようテープを貼り注意喚起。
業務終了し駐車場へ移動中、車輪止めにつまづき転倒（つまづく）	・夜間暗闇での移動で足元の障害物に気付かなかった。	・夜間の移動時には照明器具を使用することの徹底。
接客対応中、お客から声を掛けられ振り向いたときに自身の履物（サンダル）につまづき、転倒（つまづく）	・サンダルを履いていた。	・耐滑性のある履物への変更（サンダル等の使用禁止）及び定期的に履物の靴底や劣化の状態確認。 ・始業時にストレッチなどの運動を実施。 ・定期的に事業場内の点検を実施。
構内駐車場を移動中、側溝の段差につまづき転倒（つまづく）	・足が上がらなかった。	・朝礼時の体操に加え、「もも上げ運動」を実施
清掃作業中、掃除道具等を両手に持ち歩いていた所、水拭きし濡れた床で足を滑らせ転倒（すべる）	・清掃直後で床が濡れていた。 ・清掃用具で両手がふさがれていた。	・耐滑性の高い安全靴へ変更。 ・清掃中の基本要件①清掃中は走らない②慎重に作業する③両手に荷物を持たないを明示。
給水車から水を出すため、給水車後ろのホースを跨いで通ろうとしたところ、ホースにつまづき転倒（つまづく）	・作業動線にホースがあったが、乗り越えられると思った。	・毎週交代で安全目標を掲げ労働災害防止の意義の周知及び啓発を促す。 ・前日作業打合せ時及び当日作業前に４S,ＫＹ活動の実施。 ・指差し呼称の徹底。 ・作業マニュアルの見直し。 ・危険個所に危険のポイントを掲示。
斜面の草刈り作業中にぬかるんだ箇所に足を取られ転倒（その他）	・ぬかるみに気が付かなかった。	・転倒予防のための運動の実施。 ・現場にあった作業靴の支給。
事務所に入ろうとした際に、出入口の鉄製の泥落としに靴の踵が引っ掛かり転倒（つまづく）	・鉄製の泥落としに靴の踵が引っ掛かった。	・「転倒防止チェックカード」により従業員に注意喚起を実施。 ・災害発生箇所を点検し、修繕の実施。
通路を移動中、通路にあった無人搬送車（高さ１０ｃｍ）に足が乗り、その足が滑り転倒（すべる）	・廊下の幅が狭く、無人搬送車通行スペースが限られる狭隘な場所であった。 ・高齢のため筋肉やバランス感覚の衰えがあった。 ・慣れによる不注意や、足元の確認不足があった。	・注意喚起の掲示を実施。 ・協力会社を含めた安全点検の実施。 ・高齢労働者に対する安全教育の実施。

建設業・運輸交通業・林業・その他

令和３年に発生した転倒災害で、実際に事業場で行われた再発防止対策

【建設業】

災害発生状況	原　因	主な再発防止対策
造成工事現場にて、歩いて段差を下りていたところ、靴の裏に泥が付いており、滑って転倒（すべる）	・靴の裏に付いた泥で滑りやすかった。 ・作業員通路が設置されていなかった。	・整理整頓、見える化、安全な作業員通路の設置の実施。
２ｔダンプの荷台からバケツに入った水を他の作業員に渡すとき荷台上で足を滑らせ転倒（すべる）	・荷台が水で濡れており、滑りやすかった。	・５S、KY活動を実施する安全衛生推進者の補佐を新たに配置。
水中ポンプのゴミを取ろうと川の中に入ったところ足を滑らせ転倒（すべる）	・転倒を防止するための教育や転倒予防のための運動を行っていなかった。	・作業開始前に各作業員の体調等、健康状態の確認。 ・作業開始前に簡単なストレッチ運動（膝の曲げ伸ばしなど）の実施。

【運輸交通業】

災害発生状況	原　因	主な再発防止対策
コンテナの積み込み作業中、荷台からゲートに降りようとしたところ、雨で荷台が濡れており滑って転倒（すべる）	・雨のため荷台が濡れ滑りやすかった。 ・雨天時の作業で急ぐ気持ちがあった。 ・昇降板と荷台との間に段差と隙間が出来た。	・作業手順の指導、教育の実施。 ・点呼時の指示項目に「雨で足元が滑りやすいので注意しましょう」を追加し、雨天時に注意喚起。
集配先のスロープ状の通路を小走りで下りたところ、スロープが雨で濡れており滑って転倒（すべる）	・運輸業未経験者であった。 ・雨で路面が濡れ滑りやすかった。	・転倒防止のリーフレットを各車両へ配置し、事務所にも掲示。 ・安全衛生教育の実施。
事務所へ向かう途中、マンホールの段差につまづき転倒（つまづく）	・マンホールの段差に気が付かなかった。	・路面の補修。 ・転倒防止やストレッチのポスターを掲示。
片方の手をポケット入れ屋外を小走りで移動中に段差につまづき転倒（つまづく）	・車両の往来等により路面に凹みが生じた。	・凹みが生じている箇所に注意喚起の表示を実施。 ・路面の補修。

【林業】

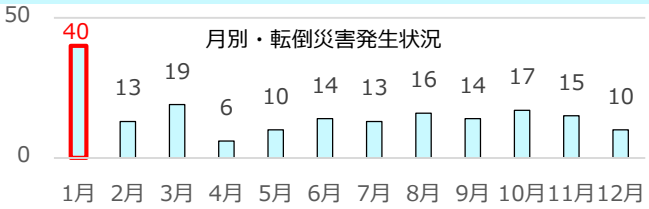
災害発生状況	原　因	主な再発防止対策
山林斜面上で作業中にバランスを崩して転倒（その他）	・急傾斜地であった。	・個々に行っていた準備体操、ストレッチを作業前ミーティング時に作業員全員で実施。 ・足運び等の基本動作の確認。
作業道を歩行中、作業道がぬかるんでおり足を取られバランスを崩し、転倒（その他）	・山道のため、作業道がぬかるんでおり、足を取られやすかった。	・作業道の危険箇所についての注意喚起。 ・除去できない物が通行に危険を及ぼすと判断した際にはロープ等で囲いの設置。

【その他】

災害発生状況	原　因	主な再発防止対策
作業場内を移動中、機械の電源コードに足が引っ掛かり転倒（つまづく）	・電源コードが通路を横断してあった。	・職場点検を行い転倒危険箇所について周知。 ・定期的に職場点検の実施。 ・定期的に社内会議において転倒予防について検討。
船上の床が雨で濡れており、船上を移動した際に足を滑らせ転倒（すべる）	・雨で船上が濡れていた。	・船上の整理・整頓の実施。
移動するため椅子から立ち上がった際に、足が滑って転倒（すべる）	・足元の状況を確認していなかった。	・理学療法士による「ストレッチ体操や転倒予防」のための運動の実施。

冬期の転倒災害

冬期の積雪・凍結・寒冷に起因する転倒労働災害が、 12月から翌年２月までの３か月間に集中して発生しています。特に令和３年１月は、積雪・凍結に起因する転倒災害が多く発生しました。



積雪・凍結に起因し発生した転倒災害で、事業場で行われた再発防止対策

災害発生状況	原　因	主な再発防止対策
急勾配の下り坂を徒歩で移動中、凍結した路面の上に積雪があり、足を滑らせ転倒	・早朝のため暗かった。 ・路面の凍結及び積雪のため滑りやすかった。	・危険個所について、配達員ごとに再確認し、互いに情報を共有する。（ヒヤリハット情報＋危険マップの作製）。 ・凍結路面対策として、アイス・スパイク等の配布。
配送のため、坂道を歩いて移動中、路面の凍結により足を滑らせ転倒	・路面が凍結しており滑りやすかった。	・声かけの実施。 ・転倒危険マップの作成。 ・ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れる。
駐車場へ向かう途中、通路が凍結しており、滑って転倒	・路面が凍結しており滑りやすかった。	・安全衛生推進者による職場巡視の強化。 ・転倒リスクのある個所の「通行禁止」の周知及び表示。 ・雪道など滑りやすい箇所の歩行方法について周知。
原料をもって屋外の通路（スロープ）を移動中、積雪により足を滑らせ転倒	・スロープに滑り防止塗料で塗装していたが、経年劣化により効果が無くなっていた。 ・積雪のため滑りやすかった。	・転倒箇所がスロープ状であるため、当該箇所にラバーマットを敷いた。
エレベーターホールの床が雪の影響で濡れており、足を滑らせ転倒	・靴に付着した雪が床に落ち、溶けて滑りやすかった。	・滑り止めマットの設置。
車を駐車場に駐車し、車から降りた際に、路面が凍結しており、足を滑らせ転倒	・駐車場が凍結しており滑りやすかった。 ・靴が滑りやすいものであった。	・天気予報等で気温が氷点下となる場合は、注意喚起の実施。 ・凍結の可能性がある場合は、滑りにくい靴での出勤を推奨。

◆◆　「見える」安全活動コンクール優良事例　◆◆

厚生労働省では、事業場・企業における安全活動の活性化を図るため、事業場等で実施されている安全活動の「見える化」事例を募集し、優良事例を選考するコンクールを毎年実施しています。

本コンクールの過去の優良事例で、転倒災害を防止する「見える化」事例を多数掲載しておりますので、事業場の「見える化」活動の参考にしてください。

（ 令和４年６月作成 ）